

鎌倉ローンテニス倶楽部におけるフェイスマスクの着用に関する理事会の見解

2024年2月11日

理事会

テニスは定められたルール・共通の環境下でフェアに精神面も含めた技量を競い合うもので、フェアであるためには互いに素顔でプレーすることが本来の姿です。従って、フェイスマスクの着用はJTAが主催する公式戦では認められていません。また、倶楽部規約2条(目的)にある「会員相互の親睦を図ると共にスポーツ精神の涵養に努める」ためには素顔でのコミュニケーションがとても重要です。

2012年7月8日の理事会においてフェイスカバー(原文のまま)は禁止するといたしました。しかし、コロナ禍下感染拡大防止のため、2020年7月25日の「当面の運営ルール」において、呼気の拡散を防ぐ目的で、“当分の間”フェイスマスク着用が認められ、現在に至っています。このような経緯の中、近年紫外線の危険性が指摘されており、日中のプレーに際し紫外線から素肌を守ることを目的としてフェイスマスクを着用したいという要望が寄せられています。

フェイスマスク着用について賛否両論ある中、理事会判断は、2012年の理事会の判断を引き継ぎ、フェイスマスクの着用は原則として禁止するとします。ただし、互いの了解のもと、紫外線が気になる状況におけるプレーではフェイスマスクを着用してもよいものとします。プレー前・プレー後のあいさつはフェイスマスクを取って素顔で実施してください。

意見は異なっても互いの人格を尊重する当倶楽部の基本精神に基づき、会員相互の親睦と親しいコミュニケーションを強く望みます。

<注記>

- ① コートの外では、大会の運営、グリーンデーなど特別な場合を除き、フェイスマスクは着用しないでください。
- ② 他クラブとの親善試合では着用しないことを原則とします。
- ③ 大会では参加要項・レフェリー判断に従ってください。

以上